



木曽川下流自然観察会

<http://owari.eco.coocan.jp/kisogawa.html>

日時 2016年7月10日(日) 9:30~12:00
(晴)

参加者 一般: 6名(うち子ども3名)
指導員: 6名

テーマ 「河原で虫を探してみよう」

今回のテーマは虫です。虫好きな子どものほかダンゴムシしか触れないという子どもも参加し、河原に向かいました。

まずは草原の上を飛んでいたウスバキトンボを捕まえて、じっくり観察です。ウスバキトンボは春先に海を渡って日本に来て、世代交代を繰り返しながら北上するトンボで、長時間、風に乗って空中にいられるよう、体の割に羽が大きく、かつ体重を軽くするため体の外被も薄くなっています。捕まえたトンボに触って羽の形や厚さ、体の柔らかさなどを実感しました。

また、芝生ではショウリョウバッタを見ました。まだ羽が伸びていない幼体です。頭部をルーペで見て、よく似たオンブバッタとの見分け方を学びました。その後捕獲したツクムシと見比べ、バッタとキリギリスの中間の触角の違いを確認しました。

河原に下りると、カワラサイコ、オオキンケイギクなどが咲いている草原で、黒っぽいチョウがたくさん飛んでいました。捕まえてみると、ジャノメチョウでした。なぜかこの一画だけに飛んでいて、他では姿が見られませんでした。

その近くには最近あまり見かけなくなったメハジキの花が咲いており、また他所では既に終わったところが多いネムノキの花が残っていましたが、季節が移るのは早く、先月河原で見られたマンテマの花は見られませんでした。代わりにその辺りには赤いキノコがたくさん見られました。

いつもは流量の少ない木曽川の南派川も、前日の雨のせいか水量が多く、急流となっており、子どもたちが川に落ちないように注意し、また、気温が高いため、熱中症にならないよう、時々水分補給をしながら進みましたが、日射を遮るものがない河原は暑さが厳しいので、いつもは回る大野極楽寺公園は省略して、138タワーパークの池に行きました。

池にはハンゲショウの花と白い葉が目立ち、水面上を真っ赤なショウジョウトンボが数頭飛び、水草の上ではクロイトトンボが連結して産卵行動をしていました。

虫が苦手だったA君も、回っているうちに、何とかショウリョウバッタを掴むことができるようになり、終りがけに小さなキイロテントウを見つけて教えてくれました。こういう変化をみることも楽しいですね。(報告: 齋竹)

<その他観察できたもの> 昆虫: セイヨウミツバチ、モンキチョウ、モンシロチョウ、キタキチョウ、ベニシジミ、ツバメシジミ、ルリシジミ、ツマグロヒョウモン、ナミアゲハ、ナガサキアゲハ、カナブン、コフキコガネ sp、シオカラトンボ、コシアキトンボ、シオヤアブ、ベッコウハゴロモ、ニイニイゼミ(声)

鳥: ツバメ、ヒバリ、オオヨシキリ(声)、ウグイス(声)、ヒヨドリ、キジバオ、ムクドリ、スズメ、ハシボソガラス

花: カワラマツバ、アレチマツヨイグサ、オオニワゼキショウ、ヒメジョオン、アレチハナガサ、ハマクマツツラ



(観察会のようす)



(メハジキの花)



(ショウジョウトンボの♂)